

辻委員（共産）

平成 31 年 2 月 26 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）少人数学級の拡大について

本会議での一般質問で 35 人学級の実現を求めたが、教育長の答弁は極めて消極的なものであり、残念でならない。

教育長の答弁は、義務標準法を超えた配置もしないし、加配教員の活用もしないというものである。

中国地方でも、最も遅れた教育条件で、「教育県・広島」などと言えるのか、改めて教育長の見解を伺う。

（答）

少人数学級の効果はあると考えておりますが、義務教育における少人数学級の拡大は、国が責任をもって標準法の改正を行い、導入されるべきものと考えており、引き続き、国に対して、しっかりと要望してまいりたいと考えております。